

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

グローバルエクセレントカンパニーとして、持続可能な社会の実現に欠かせない企業になる

売上収益
2兆円以上

営業利益率
20%以上

ROIC
20%以上

GHG削減
2.5億トン相当

② 中長期の経営戦略

1. グローバルビジネス3本柱強化

精密・電子・エネルギー・建築・産業で一定以上の事業規模と高い収益性・効率性を実現

3. ソリューション化の推進

インストールベースをビジネス資産とし、データ分析・省エネ・脱炭素支援サービスを提供

2. 日本起点ビジネス安定化

インフラ・環境で課題先進国の日本のソリューション提供ノウハウを世界に展開

4. 新規事業の育成

水素エネルギー・航空宇宙・医療バイオ・フードテック領域で新規ビジネスを確立

③ 対処すべき課題

① 既存事業のソリューション化

- ・ソリューションプロバイダーへの転換が一定の成果を創出したが、今後の実現に課題が残存
- ・データから価値を生み出す枠組みの高度化が急務

② 新規事業の実現化

- ・水素関連事業・新事業開発で萌芽が生まれたが、2025年以降の刈り取りが必要
- ・顧客との共創による新たな価値創出の深化が課題

③ 経営基盤の統合最適化

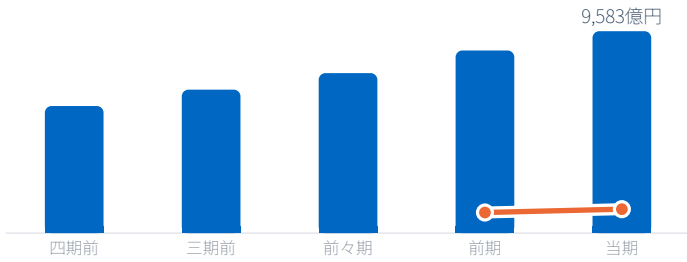
- ・CxO制導入により機能軸の横ぐしを構築したが、グループ価値向上への結びつけが課題
- ・対面市場別の組織定着とシナジー発現の継続強化が必要

面接で使えるポイント

- ・E-Vision2035で「6兆円規模の時価総額」を目指す中で、AI技術を新たなコア技術と位置づけ…
- ・8億人への水供給とCO₂約2.5億トン削減を掲げ、本業を通じた持続可能性への貢献を重視する経営姿勢
- ・精密・電子・エネルギー・建築・産業の3本柱で高い収益性を実現しつつ、水素エネルギーなど新規事業を育成する両輪経営

証券コード 6361

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
9,583億円営業利益率
11.9%財務健康度
65点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 67.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
980万円
機械内 9位/208社平均年齢
43.1歳
機械内 78位/209社平均勤続
14.4年
機械内 136位/209社女性管理職
8.6%
機械内 26位/168社男性育休
100.0%
機械内 27位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: なぜ荏原製作所は「知財ROIC」を導入したのか——知財経営を

